

シンポジウム7日目はヤングリサーチーズフォーラムと題した1日でした。筑波大学海外交流協定校の3大学に所属するヤングリサーチャー3名を招聘して、筑波大学の卒業生および大学院生ならびに茨城大学大学院生の6名による発表と活発な質疑応答が行われました。

特別講演

壽賀一仁

(NPO 法人日本国際ボランティアセンター事務局次長)

ESD and Rural Development Cooperation-  
Perspective of a Japanese NGO

「ESDと農村開発」と題して壽賀一仁氏による特別講演が行われました。初めに、ESDとは「価値」に基づいた学際的で包括的な学びを推進することであり、単なる記憶ではなく理解に基づいた学習や、多元的取り組み、参加型意思決定が大切であることが示されました。

次に、ケーススタディーとして、カンボジア、ベトナム、ジンバブエの3つのケースについて具体的に説明して下さいました。

カンボジアにおいては、「技術移転から環境教育への転換」を目的として、コンポストの生産、野菜栽培、樹木の移植が進められました。ベトナムのケースでは、「問題解決型から『地元学』への転換」を目的に「米とアヒル生産」「等高線に沿った栽培」「野菜園作り」が進められました。またジンバブエのケースでは、ESDの一つの目標である「内側からの開発」を進めるために、地元の生態保全運動家たちと連携し、「人間社会—自然生態系—精神的世界」の一体化を目指しました。その「土地に固有なものをよみがえらせる」ことをめざし、自然環境、習慣、人的・社会的資本を総合的に捕らえ、地元の人の自主的な努力によるその土地固有の価値の再生、農業の知恵に根ざした土地固有の穀物、果実の生産が行なわれました。



Montana Ruchirasak

ラジャマンガラ大学 Assist. Prof. (タイ王国)

Sustainable Core Competency-Enhancing of  
Organic Rice Growers in Thailand

農業普及情報学科に勤務するRuchirasak氏が「中心となる持続可能な能力：タイにおける有機米栽培農家の促進」と題して講演を行いました。





## 南川和則

日本学術振興会特別研究員、農業環境技術研究所

### How are GHG Researchers Coping with the Development of Sustainable Agriculture?

筑波大学大学院を2006年に卒業し、現在、農業環境技術研究所に勤務する南川氏は、「地球温暖化ガス研究者は持続可能な農業の発展にいかんして対応するのか?」と題して講演しました。



## Yayat Hidayat

ボゴール農科大学 大学院生 (インドネシア共和国)

### Educational and Research Programs to Develop Sustainable Watershed Management: Case Study in Program of Watershed Management, IPB

ボゴール農科大学の農学部大学院生のHidayat氏は、「持続可能な流域管理の開発のための教育・研究プログラム」について講演しました。



## 堀金麻理

筑波大学 大学院生

### Hormonal Regulation of Tick Reproduction as a Possible Strategy for Sustainable Livestock Production

筑波大学大学院生命環境科学研究科の堀金氏は、「持続可能な家畜生産のための現実的な戦略としてのマダニ繁殖のホルモン制御」について講演しました。

堀金氏の発表は、審査の結果、最優秀プレゼンテーション賞が授与されました。



## Lourdes S. Edano

フィリピン大学 Assist. Prof. (フィリピン共和国)

### Contribution of Students' Research in the Accumulation of Knowledge on Sustainable Agriculture at the UPLB-College of Agriculture

フィリピン大学ロスバニオス校の作物学教室で講師を務めるEdano氏は、「フィリピン大学ロスバニオス校農学部における持続可能な農業に関する知識の集積に対する学生研究の貢献」について講演しました。

Edano氏の発表は、審査の結果、最優秀プレゼンテーション賞が授与されました。



## Ousmane Diene

茨城大学 大学院生

### The Use of Symbiotic Fungal Association with Crops for a Sustainable Agriculture Production

茨城大学大学院農学研究科のDiene氏は、「持続可能な農業生産への共生菌群の利用」について講演しました。

